

平成30年1月24日（水）知立リリオ・コンサートホールにて「第33回愛知県高等学校保健体育研究大会」が開催され、多くの県内高等学校保健体育教諭及び養護教諭が参加されました。

愛知県学校体育研究連合会高等学校部会・大野芳樹会長より挨拶の後、平成29年度全国及び愛知県表彰披露がありました。

開会式・大野芳樹会長の挨拶



< 愛知県学校体育優良校の表彰 >



愛知県立豊明高等学校



愛知県立木曾川高等学校

< 愛知県学校体育功労者の表彰 >



益田 昭一 様 (元県立名古屋西高等学校教諭)



山本 剛之 様 (県立新城高等学校教諭)



古山 雄樹 様 (名古屋市立山田高等学校教諭)

功労者・優良校を代表して、愛知県立豊明高等学校校長 小島 寿文 様と愛知県立木曾川高等学校長 入野 勝年 様より謝辞をいただきました。



それぞれの表彰校・表彰者に対して、大会参加者から盛大な拍手が送られました。

本研究大会では、4校の高等学校に2年間研究をしていただいた成果を発表していただきました。

「夏季に実施する「剣道」の授業の工夫について」



名古屋市立北高等学校

「本校生徒の体力向上について」



愛知県立東海商業高等学校



「効果的なウォーミングアップの検討」



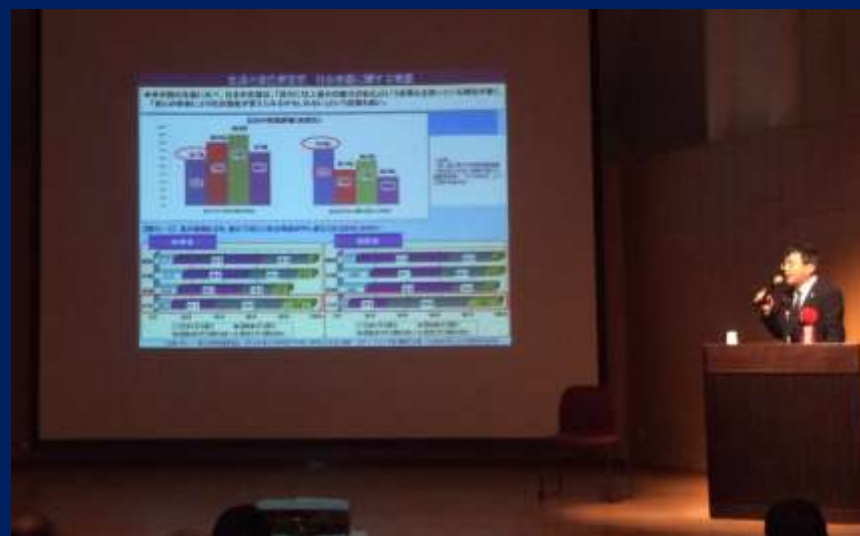
愛知県立時習館高等学校

「飲酒と健康について正しく理解し行動できる生徒の育成」



愛知県立三好高等学校

その後の講演会では、講師としてスポーツ庁政策課教科調査官の森良一先生をお迎えして、「次期学習指導要領改訂に向けた科目保健の方向性について」と題して、高等学校におけるこれから目指すべき保健授業の在り方について講演していただきました。



今回の研究大会では、保健体育の理論的研究を通して指導力の向上と本県高等学校保健体育の振興充実を図ることができました。